2026 年 11 月 5 日（木）
デジタルグリッド株式会社

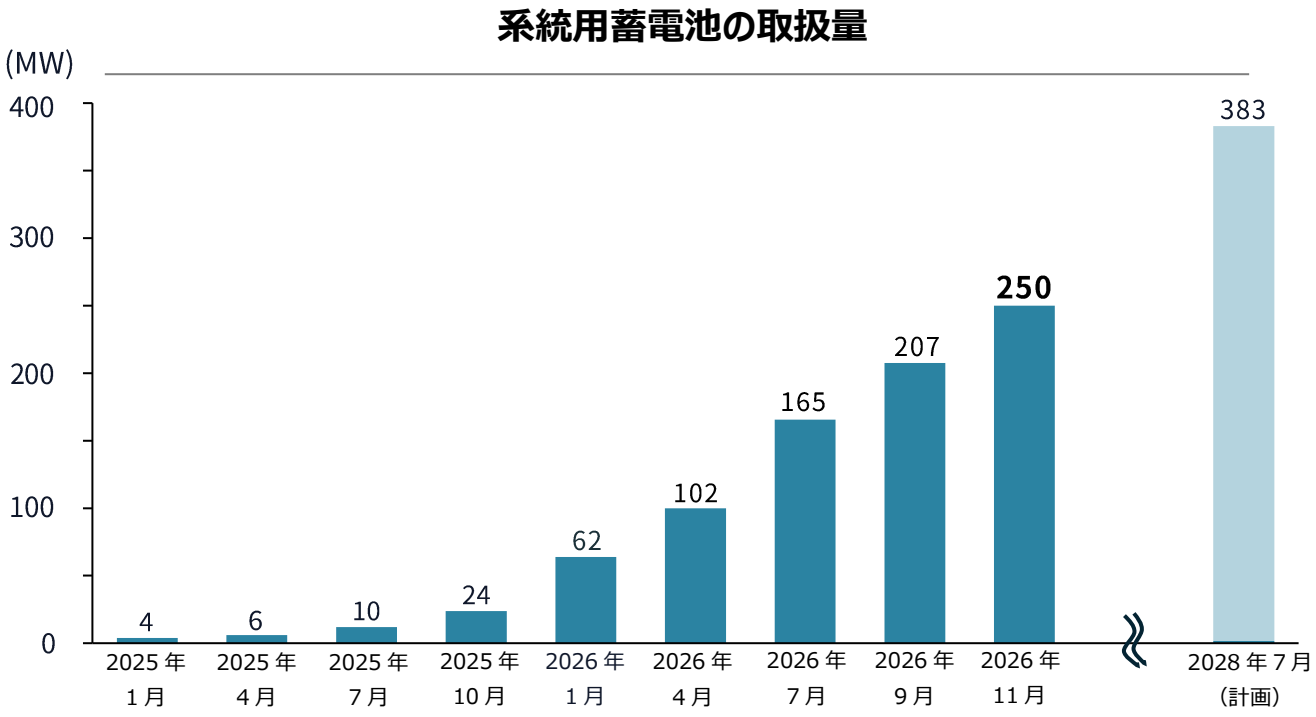
系統用蓄電池の取扱量が 250MW を突破
約 1 カ月で 50MW 増加　全国 9 エリアに拡大

デジタルグリッド株式会社（本社：東京都港区、代表取締役社長 CEO：豊田祐介、以下「当社」）は、系統用蓄電池の取扱量が 2026 年 11 月 4 日時点で 250MW を突破したことをお知らせいたします。当社が取り扱う系統用蓄電池は、沖縄を除く全国 9 エリア*すべてで商用運転を開始しており、全国各地で事業拡大が進んでいます。

*北海道・東北・東京・中部・北陸・関西・中国・四国・九州エリア

当社は系統用蓄電池を保有する事業者と連携し、複数の系統用蓄電池をまとめて制御・運用するアグリゲーションサービスを提供しております。系統用蓄電池市場の拡大する中、当社は多様な蓄電池設備への対応力と市場運用の知見を強みとしており、運用を受託する案件が急増しています。こうした系統用蓄電池の商用運転の開始が相次いだことで、**取扱量は約 1 カ月で 200MW から 250MW へと急速に拡大**しました。

当社は、新たに系統用蓄電池の売り手と買い手をつなぐマッチングサービスを開始するなどサービス拡大を進めており、今後も再生可能エネルギーの普及および電力系統の安定化に貢献してまいります。



運転開始日ベースでカウントしています。取引情報の速報値を集計したものであるため、今後修正・変更が発生する可能性があります。
また MW 未満を切り捨てして記載しているため過去に開示した数値と一致しない場合があります。

当社が選ばれる理由



① 特定メーカーに限定せず対応可能

蓄電池設備やパワーコンディショナーの仕様が多様化する中、当社では蓄電池設備のメーカーを限定することなく対応しています。これにより、蓄電所オーナーは設備選定の自由度を確保しながら、需給調整市場への参入や収益化を実現できます。

② 金融市場で培った知見を活かした市場運用

需給調整市場では、電力需給や再エネ出力、市場価格などが時間帯ごとに変動するため、蓄電池価値を最大化するためには高度な市場分析と運用判断が求められます。

当社には金融業界出身メンバーが多数在籍しており、市場分析・価格予測・リスク管理の知見を活用した蓄電池運用を強みとしています。

会社概要

会社名	デジタルグリッド株式会社 東証グロース市場 350A digitalgrid.com	**代表者**	代表取締役社長 CEO 豊田祐介
所在地	東京都港区赤坂 1-7-1 赤坂榎坂ビル 3 階	**設立**	2017 年 10 月
資本金	1,242 百万円 2026 年 7 月末時点	**従業員数**	114 名 2026 年 11 月 1 日現在
事業内容	電力及び環境価値取引プラットフォーム「DGP」運営 分散型電源アグリゲーションサービスの提供		
表彰	・アジア太平洋地域の急成長企業ランキング 2026 Energy & utilities 部門 国内 1 位 ・令和 7 年度 気候変動アクション環境大臣表彰		

IR チームからのお知らせ
※蓄電池アグリゲーションサービス：当社の調整力事業の詳細については、こちらをご覧ください。

※IR コンテンツのご案内：
- IR メール配信：適時開示情報をはじめとする IR 関連情報をタイムリーにご提供するメール配信中
- インベスターデータブック：財務データや非財務 KPI などを分かりやすく整理した数値データ集
- よくあるご質問とご回答：Notion にまとめて一覧で開示中（2026 年 9 月 11 日更新）